

心臓外科・血管外科

1. 概要

先天性心疾患: NMCにおいて1kgに満たない小さな子たちに救命的な手術を行っている。以前より一貫して将来を見越した胸筋温存による手術を行っており、この術式を取り入れている施設は全国でもごくわずかである。それ以外の症例については他院へお連れして手術を行っている。

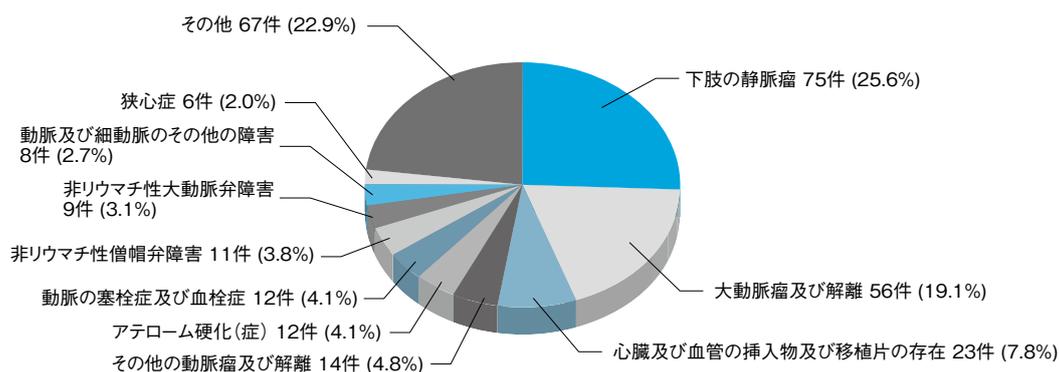
成人心疾患: 症例数が少なく、チームの練度が上がらないのが現状であるが、日々のカンファレンスを充実させ一步一步進んでいる。

血管外科: 下肢静脈瘤に対して血管内焼灼手術を取り入れてから、4年以上が経ち、多数の方々に施行してきたが、静脈瘤の再開通例はなく、海外のデータと比較してもよい成績であると自負している。2019年度から腹部大動脈瘤に対するステント治療が当院で可能となる。より安全で早期回復を目指した手術を行うよう、スタッフともども進めていく所存である。

(部長 中山 雅人)

2. 新規登録疾患

総数：293件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
下肢の静脈瘤	潰瘍又は炎症を伴わない下肢の静脈瘤	70	I839
大動脈瘤及び解離	腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	33	I714
	大動脈の解離[各部位]	15	I710
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	その他の心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	18	Z958
その他の動脈瘤及び解離	部位不明の動脈瘤及び解離	9	I729
アテローム硬化(症)	全身性及び詳細不明のアテローム硬化(症)	12	I709
動脈の塞栓症及び血栓症	詳細不明の動脈の塞栓症及び血栓症	9	I749
非リウマチ性僧帽弁障害	僧帽弁閉鎖不全(症)	11	I340
非リウマチ性大動脈弁障害	大動脈弁閉鎖不全(症)	5	I351
動脈及び細動脈のその他の障害	動脈の狭窄	7	I771
狭心症	狭心症, 詳細不明	6	I209

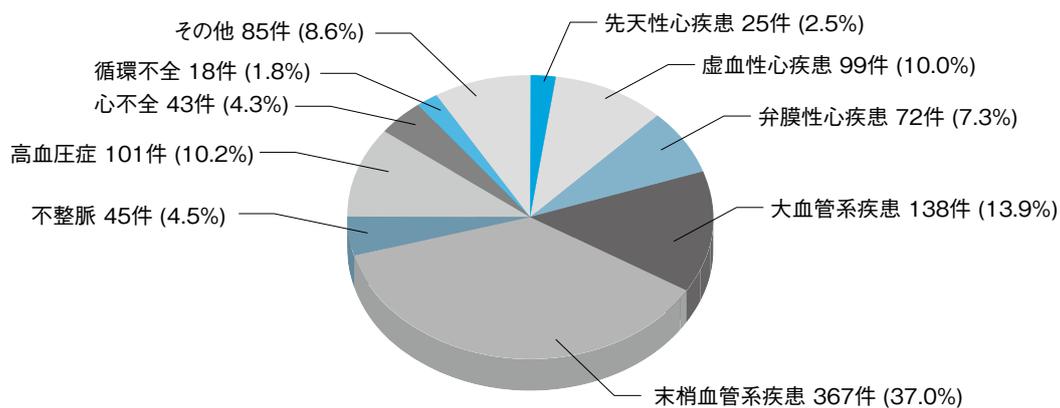
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 2,965人 年間外来新患者数 169人
 年間入院患者数 2,725人 年間入院新患者数 186人

(2) 疾患別頻度

総数：993件



論文・著書（医局）

<心臓外科・血管外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	Direct oral anticoagulant therapy as an alternative to surgery for the treatment of a patient with a floating thrombus in the ascending aorta and pulmonary embolism	筆頭著者	Masashi Toyama	J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2018;4: 170-172.	
2	筋弛緩薬が原因物質と考えられたアナフィラキシーの既往のある患者に対する冠状動脈バイパス術の1例	筆頭著者	外山 正志	胸部外科. 2018;71: 115-119.	